

事業所名

児童デイサービスみそら

支援プログラム

作成日

R6

年

4月

20日

法人（事業所）理念		<p>「仲良く笑顔で歩こうよ」『一人ひとり輝く瞬間・輝ける瞬間を大切に・・・』 子どもたちが自分らしく、きらりと輝く瞬間の一つひとつ見つけていくお手伝いをします。 子どもたちが心の中で奏でる音の階段の一つひとつ上がっていくお手伝いをします。</p>					
支援方針		<p>子どもたちの生きていく力・学ぶ力・楽しむ力を育んでいきます。楽しい！もっとやりたい！もっとうまくなりたい！と感じる力を『遊び』から提供していきます。 私たちは「子ども」と「その家族」の一番近いところと一緒に歩いていきます。 そして、子どももその家族も安心して過ごせる大好きな場所となるように支援していきます。</p>					
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>自分の必要な物を他者に伝える方法を身に付けるため、写真・カードを用意し適切に伝えることができるように支援します。 それぞれの発達の段階や年齢にあった排泄が自立的に行えるように支援します。 清潔の保持の意識が育つように、手洗いの励行を継続して行います。 クッキングのプログラムを行い、食への関心のきっかけづくりや食育に努めていきます。</p>					
	運動・感覚	<p>音楽療法で音楽を楽しみながら適切に自己表現できるように支援します。 サーキット運動などで様々な身体の動かし方を体験し、正しい身体の動かし方が身に付くように支援します。感覚遊具で体幹やバランス感覚を身に付けます。 製作活動で細かい手先の動きを求め、巧緻性の向上を目指すプログラムを提供します。 戸外遊びや畑作業で自然に触れ合い楽しむ機会を設けます。</p>					
	認知・行動	<p>集団で行うゲームなどで適切な行動や振る舞いを学んでいきます。 季節の変化への興味など感性形成を構築するため、季節に応じたプログラムや外出の機会を提供します。 他者と共に何かをする機会を作り、自分以外の人と協力したり他者を意識して行動できるようにします。</p>					
	言語 コミュニケーション	<p>毎日始まるの会・終わりの会を行い、あいさつの機会を作るなど言語コミュニケーションを図ります。 遊びの中で言葉を意識するプログラムを取り入れ、楽しみながら語彙を増やしていきます。 活動の流れや予定を文字や絵で提示し、視覚的支援を行います。</p>					
	人間関係 社会性	<p>活動を通して、集団で行動する機会・役割分担する機会を設けます。 活動を通じてルールを理解する機会を設けます。 社会資源の活用を通して、地域で安心して暮らしていくための体験を積み重ねていきます。</p>					
家族支援		<p>基本的には毎日の活動終了後に、対面でその日の様子をお伝えし、情報共有を図っています。困りごとやご相談のあった場合には、別途、相談や面談の機会を設けます。</p>			移行支援	<p>特に支援学校高等部3年生や高校3年生に対して、卒業後の仕事や活動をイメージし、次のステージでも安心して働いたり活動に参加できるように事業所の活動を通して、態度やマナー等を身に付けていけるように支援していきます。</p>	
地域支援・地域連携		<p>各種支援会議、サービス担当者会議にはできる限り職員が参加します。行政の情報交換会、研修会には積極的に参加し職員を派遣します。</p>			職員の質の向上	<p>積極的に研修などに職員を派遣し、研修に参加した職員からの伝達研修や資料を回覧するなど、知識の共有を図るよう努めます。</p>	
主な行事等		<p>初詣・季節の散歩・水遊び・夏祭り・ハロウィン・芋掘り・クリスマス・餅つき・買い物学習・クッキング・電車に乗ろう・外食・ボーリング・外出プログラム・スノーズレン・サイバーホイール・スイングブランコ・ハンモック・滑り台・トランポリン・ボルダリング等</p>					